

# 翠風園 ひかり通信

第9号



発行月： 平成26年12月  
制作・発行： 社会福祉法人 正瑛会  
デイサービスセンター翠風園  
ヘルパーステーション翠風園  
グループホーム 翠風園  
理事長 野水 清志

所在地： 〒950-1236  
新潟市南区高井東2丁目13番33号  
連絡先： 025-362-7600  
ホームページ：<http://www.suifuen.jp/>



プリムラ  
～冬のサクラ～

ご挨拶

事務長 酒井 義喜



師走に入り、皆様、益々ご多忙のことと存じます。昨年は、正瑛会設立十周年記念誌「桜の道しるべ」を発刊し、また来年の三月には、デイサービス・ヘルパーステーションに続き、グループホームも開設十周年を迎える事となりました。これも偏に地域の皆様をはじめ、日頃ご支援下さる多くの方々のお蔭と、心より感謝申し上げます。

私も来年、翠風園に於きまして二桁となる勤務年数となります。多くのご指導を戴きながら、無我夢中で過ごして参りましたこの十年は、掛け替えない時であったと、感慨深く感じる今日この頃です。私には、八十四歳になる父がおります。私が翠風園に入社して間もなく、父は体調を崩し、それから年を追う毎に一人では用を足す事が出来なくなり、母が主介護者となって支える生活となりました。

人一倍人の世話になる事を嫌う父にとって、思うように動けなくなり始めた当初は、自分に対する苛立ちや切なさもあつたと思います。また私も、同じ時期に人の親となり、慣れない子育て・介護と、心に余裕がなく、父に對しどれ程、心無い振る舞いをしてしまっていたかを今考えると、顔が上げられません。

その様な私が一歩前へ足を踏み出す事ができたのは、翠風園の理念である「報恩・感謝・奉仕」の想いでした。この理念の下、利用者様と、職員と共に過ごし歩んで参りました数々の道程は、私に、人は「愛と感謝」の熱い想いが有れば、時が掛かろうとも必ず心が通い、互いを理解し合い、足下に平和な世界が築ける事を教えて下さいました。

翠風園で学んだ心を家庭でも尽くし、父も今では私に「全てに感謝」だと涙ながらに話すようになり、心穏やかに日々を過ごしています。今後、高齢化社会は益々変革が激しくなる事が予想されますが、正瑛会は、健全な経営と、希望と魅力のある介護を実践して参りたいと思っておりますので、今後とも、宜しくお願い申し上げます。

# デイサービスセンター グループホーム

## 生まれて来た事への 感謝祭

平成二十六年七月二十二日から二十八日に、デイサービスセンターとグループホーム合同で「生まれて来た事への感謝祭」という行事を執り行いました。

翠風園では、毎年この時期に、様々なテーマの感謝祭を行う事が恒例となり、昨年は、郷土白根への感謝祭、一昨年は風への感謝祭を行いました。日頃当たり前のように過ごして忘れてしまっていた感謝の一つひとつに気付く、大切な行事となっています。

今年も、職員で事前にアンケートを取り、最も票の多かった「生まれて来た事への感謝」に決定しました。

今回は行事担当であった職員の鈴木敦夫さんに感謝祭について聞きました。



行事担当 鈴木 敦夫

今回の感謝祭のテーマは職員から出た案を基に皆の意見で決めた内容でしたが、職員一人一人が「生まれて来た事への感謝」の文章を考える段になると、やはりとても難しいテーマでした。しかし、職員にとっても、この課題を考える事で「今、どのように生きるのか」を考える良い機会になりました。

行事の前に利用者様に「生まれて来た事への感謝」のお言葉を考えて戴きました。この過程で、皆様お一人おひとりの人生の様々な苦勞をお聞きする事ができました。利用者様の若い頃、戦中、戦後の時代は、殆どの方が大変な苦勞を経験されています。終戦時にシベリアに抑留され、食べ物が無くて草まで食べなければならなかった方や、子供の時に両親やご兄弟が次々に亡くなられた方、ご主人が亡くなった方など、様々な方がおられます。しかし、そんな苦境を乗り越えて来られ、今は本当に幸せと仰る方が大半です。利用者の皆様が、心からの感謝の想いを培って来られたのは、この様な苦しい体験があるからではないかと思われました。

今の時代の私達は豊かな物に恵まれ、色々な制度にも守られています。これに甘える事無く、利用者様の感謝の心や、他人を愛する心、自立心を見習って参りたいと思えました。利用者の皆様には、この行事の機会に体験からしみ出る素晴らしいお話を教えて戴き、誠にありがとうございました。





☆感謝の言葉が書かれた短冊を、利用者様が披露されている風景です☆

次に、翠風園の利用者様が考えられた、生まれて来た事への感謝の言葉を紹介したいと思います。沢山の素晴らしいお言葉の中の一部しか紹介できないのが大変残念ですが、皆様お一人おひとり真剣に考えて下さいました。

本当に、利用者の皆様の感謝の深さ、想いの深さに感動致します。

平和が一番、安全が一番。生まれて来て、色々な体験をさせてもらって、大切な事に気付く事が出来ました。全てに感謝です。

九十五歳男性

生まれてきてすぐに母が亡くなり、親戚の祖母に可愛がられました。苦しくて悲しい時代でしたが、親や祖父がいなければ乗り越えられませんでした。今こうして生きていられるのも支えて下さった方々のお陰です。今が幸せです。

八十九歳女性

「今日は、こんな楽しい事、嬉しい事があった」と思える日々を送れることに感謝しています。

八十六歳女性

親の教えというのは大事。担任の先生も大事。周りの人のお蔭で苦労の中でも幸せが輝いていました。神様仏様が見ていて下さっていて、光り輝く方向へと導いて下さっていると思えました。翠風園の御縁がありまして年など関係なく、一日一日を夢と希望で過ごしたいと思えます。翠風園に来るのを楽しみにしています。有難うございます。八十八歳女性

☆星形の短冊を貼り付け、とても綺麗な天の川が誕生しました☆



次に、職員が考えました「生まれて来た事への感謝の文章」を紹介したいと思います。感謝祭では、利用者様だけではなく、職員全員が感謝の文章を考えます。

今回は、デイサービス介護職員の佐藤麻衣子さんが発表した文章を紹介します。感謝祭当日の佐藤さんは、感極まりながらの発表となり、聞いている利用者様や職員から、大きな拍手が湧き上がりました。佐藤さんらしい心の籠った感謝の文章です。

生まれて来た事への感謝の言葉

佐藤 麻衣子

皆様こんにちは。私は介護職員の佐藤麻衣子です。私なりの感謝を文章にまとめました。どうかお聞き下さい。

今回初めて、生まれて来た事について考えました。ちょうど利用者の方より、会話中に「生きている事が有り難い」と言われていた事がありました。普段から生きている事を意識できるその方は凄いなと思いました。私は普段からその気持ちで過ごしていたらと、考えました。先ず、朝から眠たいから起きたくないな等、考える事が無くなり、朝が来たことに感謝の気持ちで沸いてきて飛び起きて、今日は何をしようかと一生懸命になると思います。

しかし、普段生活の中では何となく時間が過ぎていく感じがします。今生きているという感謝を忘れ、いかに今しっかりと目一杯生きていないのだと思います。せつかく生まれて来られた、この命をしっかりと生きなければと感じました。行事を通してとても良い機会になりました。

最後に、感謝祭の中で上映しました映像の紹介を致します。毎年感謝祭のテーマに合わせて、画像と音楽を選び、更にナレーションを考えています。

「生まれて来た事への感謝祭」

私達が生まれて来たのは お父さんとお母さんのお蔭です  
優しく可愛がられたり 厳しく鍛えられたり

自分も苦労しながら 親心で我が子を育てて下さいました  
昔は分からなかった親の愛情を

大人になって やっと 分かるようになって来ました  
そんな今、気が付いてみれば

身の周りにもあるもの全て 命を育む親心にあふれていました  
太陽の恵み 豊かな実りを育む大地

身も心もいやす暖かな火 乾きをうるおす一杯の水  
さわやかな風 呼吸している空気

当たり前だと思っていたものは全て  
私達を生かして下さる ありがたいものばかりです

こんなにも親心に満ちた世界を思う時、  
叡智に満ちた偉大なる存在の意思を感じずにはおれません

そして、その偉大なるものの意思を受け継いで来たものがあるはずです

私達は「考える」という素晴らしい力と

「心」という宝物を持って生まれて来ました

この力は、偉大なる意思から受け継いだものではないでしょうか  
私達は、考える力を使って 身の周りの世界を創り出して来ました  
嬉しかったり、楽しかったり、悲しかったり、苦しかったり  
いろいろな出来事を味わいながら 心が育っていききました



出来る限りお会い出来た方との時間を大切にしていきたい  
と思います。毎日来て下さる利用者様に、一週間に一度お会い  
出来る利用者様。今日一緒にお話ししたり笑ったり、背中を洗  
わせて戴いたり、この一日一日が貴重な体験になり、今の私を  
作っています。

或る方が「意識が行動を作り、行動が習慣を作り、習慣が人  
格を作り、人格が人生を作る」と教えて下さいました。今日も  
何か楽しい事、勉強になる事が起こり、それも生まれて来たか  
ら体験出来ている事です。こうして次の私が出来て行き、成長  
して行けると思います。今の私にはあまり向上心が無いので、  
先ずは、意識を変えて向上心を持って行きたいと思えます。私  
の周りの方は、私という人間と会って、また変わった事もある  
だろうし困った事もあったと思います。

私の家族に翠風園、私の友達、日頃から私を支えて戴き有り  
難うございます。これからも良きアドバイスをお願いします。



☆発表の風景です。かなり緊張しています☆



☆普段の風景です。いつも笑顔が絶えません☆

## 生まれて来た事 への感謝祭

身の周りにあるもの全て  
命を育む親心にあふれていました

太陽の恵み 豊かな実りを育む大地

そして、友のいる喜びを知りました  
助け合う家族の大切さを覚えました  
感謝をすることの尊さを学びました  
命ある限り、心は成長しつづけています  
私が「私」として生まれて来て、今、味わっている全ての経験は  
誰にも出来ない 私にしか出来ない  
かけがえのない素晴らしい体験です  
この体験をする事が  
生まれて来た事の大きいなる意味ではないかと思えて来ました  
この世界に生まれて来た事に  
皆さんと一緒に感謝したいと思えます  
自分を産んで育てて下さった両親に感謝いたします  
地上の全ての命を生かして下さっている地球様に感謝いたします  
世界を見守っておられる 偉大なる意思に感謝いたします  
そして、自分自身に対して  
この世界に生まれて来た事に感謝いたします  
ありがとうございます



# ヘルパーステーション

有り難う探し

を始めて

サービス提供責任者 佐瀬 友子

毎年二月になりますと、各事業所で一年の目標を決めています。年明けにヘルパー全員で話し合いながら決めるのですが、今年の目標は、「有り難う探しをする」に決まりました。実は昨年と同じ目標になります。この目標にしてから、私達職員に活気が増し「もう一年この目標にしたい」と、全員一致で決まりました。

毎週金曜日にヘルパー職員が集まり、ミーティングを行っており、話し合いの前に正瑛会の心得の唱和や、地球様への感謝、今年の目標の唱和をしています。また、そのミーティングの司会進行を毎週交代で行うのですが、その司会を担当した人が、最近感じた「有り難うの想い」を発表しています。

様々な有り難うが聞けてとても嬉しいので、職員の皆さんが感じている「有り難う」を紹介したいと思います。

## 《有り難うの想いの発表》

### ☆斉藤文子（勤続十一年）

下の子供が無事高校を卒業しました。先日卒業式に出席して来たのですが、式に出席しながら、翠風園に勤め始めた頃、娘がまだ小学生だった頃の事を思い出しました。夏休みや土日の仕事の日には、「お母さんは仕事に行って、何時に帰って来るから待ってなさい」と留守番させながら仕事をしていました。色々な事がありました。これまで学校の行事等に合わせて仕事を融通してもらった等、母親としての役目が出来るように南主任から様々と配慮して戴いたお蔭で、子供と心を離すことなく、ここまで来られたのだと思いました。卒業式に参加しながらしみじみと感じたことなのですが、本当に有り難うございました。

### ☆星あゆみ（勤続十年）

最近、「有り難う」の唱和をミーティングで行っています。時々、仕事や、家事をしている時にも、この言葉が浮かんで来て「私から貴女に、貴女から私に有り難う」って、とても良い言葉だなと感じました。実際、私も人から有り難うと言われるととても嬉しいです。人にも意識して「有り難う」と言葉に出して言う様にしていきます。有り難うの言葉を教えてもらって、有り難うございました。



利用者様の笑顔が私達の元気の源です！





### ☆山崎文子（勤続五年）

訪問先で、利用者様から何かする度に「有り難う」と声をかけて戴いたり「子供さんは大きくなりましたか」等、家族のように気に掛けてもらい、有り難いなど感じています。

### ☆川本広美（勤続十ヶ月）

訪問先への移動中にも翠風園の前を通るので、八号線沿いの花壇がいつも綺麗に手入れされていて、車で走りながらとても気持ちがいいなあと感じています。これも、施設長を始め職員の方々が、暑い中手入れをしているからなのだと思います。感謝しています。いつも仕事中に通りがら綺麗な花で心が癒されています。有り難うございます。

### ☆中山千春（勤続十ヶ月）

私は、今年の二月にヘルパーの資格を取って勤めたばかりで、何も出来ないのですけれど、いつも利用者様から「有り難う、有り難う」と言っていています。こちらの方が本当に有り難うございますの気持ちなので、いつも訪問先で掃除をする時には、その有り難うの気持ちを込めて床を磨いたり、椅子でも何でもどこか一つは意識して綺麗に磨く様に心掛けています。

毎回色々な「有り難う」の気持ちに聞けるのがとても楽しみです。職員の皆さんから日頃感じて

「有り難う」の気持ちを聞くことで、自分も「ああ、そうだ、これも有り難いな」と新たな発見があったり、気付かなかった処にも改めて有り難さに気付く事もあります。

また、毎週欠かさずミーティングをしていることで、情報の交換がスムーズに行われているからだと思いますが、最近何う様になった利用者様から「本当にヘルパーの皆さん連絡が行き届いていて細やかで素晴らしいですね。普通はこうは行かないです。本当に教育がしっかりしていらっしゃる。それにどなたからも暖かい想いが伝わってきます」と訪問中にお褒めの言葉を戴いたと施設長からお聞きしました。

利用者様の為に何が出来るかと、お一人おひとりに対してとても親身になって介護をしている事がミーティングの話の中から感じられ、この様な想いが利用者様にも伝わっているのではないかと思います。

ヘルパーの仕事は、直行直帰で顔を合わせる事が通常の仕事より少ないのですが、これまで、南主任を始め先輩の皆さんが築いて来られた相手を想い真心を込めて接する気風が根付いているのだと感じます。

これからも職員間のチームワークを深めお互いの足りないところを指摘しあい乍ら、より良い介護が出来る様、そして、一人一人が感謝の想いを深めて行ける様に仕事に励んで参りたいと思います。



利用者の皆様、いつも有り難うございます！

# グループホーム

## 納涼祭



〈編集部より〉

グループホーム翠風園では平成二十六年八月二十三日(土)に納涼祭を行いました。今回はその内容をユニットリーダーの佐藤菊美さんに取材して来ましたので、紹介したいと思います。

ユニットリーダー 佐藤菊美

「事前にご家族の皆さんや地域の施設の方にも案内状をお渡しし、当日は利用者の皆様と一緒に参加して戴きました。

『五感を楽しむ』を目的に掲げ、いつもはお弁当をお出ししていた昼食を今回は初の試みとして、バイキングに挑戦しました。数種類の料理とデザートを手作りしました。

納涼祭は、グループホームの行事の中で一大イベントです。事前準備も職員一人一人が自分には何が出来るのかを考え、飾り作りや出し物の練習に取り組みました。利用者様も職員も一丸となって参加し、本当にグループホームは皆が家族なんです」

と、今回の取り組みについて語って下さいました。



華やかな飾りの下で体操です



利用者様も納涼祭の飾り作り！

当日、デイサービスセンターのホールにて納涼祭は行われました。佐藤菊美さんが司会をされ、開会の挨拶と共に楽しい時間が始まりました。

納涼祭の記念にご家族やお客様と共に記念撮影を行いました。職員が考えた体操を音楽に合わせて行った後は、ミニ運動会にて心と体をほぐします。

グループホーム管理者の杉澤洋子さんによるオカリナ演奏、ボランティアの方によるマジックショーと大正琴の演奏、更に職員による『よさこいソーラン節』の踊りに『これから音頭』の踊りで大いに盛り上がり、閉会の挨拶でお開きとなりました。

納涼祭の前、デイサービスのホールにグループホームの職員の方が集まり、踊りの練習をされていました。和気藹々としながらも一生懸命に練習をされている姿をみて、「利用者様に喜んで戴きたい」という熱い想いが伝わって来ました。

利用者様も職員が躍る姿を見て、笑顔になられ、とても喜ばれていたそうです。終始和やかな雰囲気の中、家族としての絆がより一層深まった納涼祭となりました。





次に納涼祭に参加して下さいましたご家族より  
頂戴したお手紙をご紹介します。

### 前略

本日は翠風園さんの納涼祭に初めて参加させて  
頂き楽しい一日を、母の元気な顔や運動能力の素  
晴らしさ、良かったあと安心し、元気を皆様にな  
に頂きました。

まさか!? 運動会にカッコイイよさこいまで  
見れるとは想像もしていませんでした。  
準備やら練習やらお仕事もおありになるのに頭  
が下がります。

翠風園さんにご縁ができて本当に良かった!

今日は心もお腹もいっぱい帰って来ました。

かしこ



綺麗で素敵な便箋に書かれたお手紙は感謝の想  
いに溢れており、読んでいますと心がとても温か  
くなりました。



職員による「よさこいソーラン節」♪



ミニ運動会「玉入れ競技」です



ミニ運動会 「選手宣誓!」

最後に行事担当をされました、グループホーム  
の介護職員、角田美知子さんの感想を掲載致しま  
す。

納涼祭を終えて

角田美知子

グループホームの皆様は、普段から見たり聞い  
たり歌ったりする事はとてもお上手です。

この度の納涼祭は『見る、聞く、触れ合う、体  
験する』をテーマに、参加型のプログラムを企画  
しました。

大勢だから出来る事として、ミニ運動会風にし  
てご家族にも参加して戴ければ、楽しみも倍増す  
るのではないかという思いからスタートしまし  
た。

『玉入れ競技』や『しゃもじでボールまわし』  
では童心に戻った表情で楽しまれていました。

職員も司会進行や応援団と、利用者様が主役にな  
り、皆様の笑顔に癒されました。

表彰式あり、金・銀メダルあり、そして職員に  
よる出し物もありで、多彩な内容で盛り上がった  
納涼祭だったと思います。

ご家族の方が「いろいろあって、楽しかったで  
す」と喜んで下さった事が大きな励みとなりまし  
た。



# 心に残った出来事

## 正瑛会 十周年記念誌発刊後のお話し

今年の秋、正瑛会設立十周年記念誌を発刊し、利用者様、ご家族様、行政の皆様、ご支援下さいます地元の皆様、また遠方から応援をして下さいます方々にお届けさせて頂きました。

その直後から一〇〇通にも及ぶほどの感想をお寄せ戴きました。反響の大きさに驚くと共に、今日まで温かい想いで支えて戴いている事を肌身に沁みて感じました。皆様、本当に有り難うございました。心より感謝申し上げます。

お寄せ戴いた感想の一部ですが、次に紹介させて頂きます。

・表紙の美しさにしばしみとれてしまいました。これまで様々の本を手にし、その中には綺麗だと思ふ表紙もありましたが、こんなに感動し、心が震えた表紙は初めてです。

・この記念誌を我が家の家宝にします。

・一年一年、行事の一つひとつ、一つひとつの写真から、もの凄いい光りと未来が伝わって参ります。

・習う心、理解する心をもって、自分の足元で実践して行きたいと思ひます。

・私もそう遠くない将来行く道の事が、皆様のご経験を通して知る事が出来、読ませて戴いて感動しました。

・読んでいてこれほど、「感謝」の二文字を感じる冊子は初めてでした。

・利用者様が書かれた「詩」には泣いてしまいました。

・冊子を読んではいきましたら、歳を経て今までの切なかつた事、辛かつた出来事、人生の様々な出来事が、みんなキラキラ輝いて見えて来ました。全てが明日への希望に繋がって行きます。

・職員として設立の経緯を改めて知る機会となり、自覚と責任感が湧いて来ました。



大感激しながら、お一人おひとりの感想を読ませて戴きました！







また、最近の話ですが、とても嬉しい出来事がありました。デイサービスを利用開始された利用者様が、先日十周年記念誌を読んで下さった感想を聴かせて下さいました。

「翠風園に通うようになってとっても気に入って、もっと翠風園の事を知りたいと思っていた時に記念誌を戴いたんです。翠風園の歴史が少しずつ分かって、多くの方々のご苦労が実って素晴らしい事と感動しました。

ホールの真ん中に飾ってある写真は何方かと気になっていましたが、理事長のお父様なんですね。地域の皆さんの為に施設を造られたと聴いて、私は嬉しくって嬉しくって。なおさら翠風園の事が好きになりました。

記念誌の中に、感謝の事が沢山書いてあるでしょう。理念は『報恩・感謝・奉仕』という言葉だと書かれてあって、では、私は翠風園にどんな奉仕が出来るかしらと思っただけで考えてみたの。難しいものではなくて、皆さんが喜んで下さる事は…、と考えたら、歌が良い！と思いつきました。私はコーラスを習っていたので、唄うと元気になるし、お腹の底から声を出すと身体にもとっても良いそうです。何より一緒に唄うとみんなの心が一つになる！これって素晴らしい事ですよ。

次にどんな歌が喜ばれるかと考えて、多くの方が知っていて元気になる歌は『幸せなら手をたたこう』が良いなと思いました。どんな紙に書こうかしらと見渡してみると、翠風園のイメージにぴったりの桜色の紙が目に入って、これだ！と思いました。

今日は、和紙に歌詞を書いて持って来ました。私は今、感謝という気持ちしかないのです、感謝、感謝の気持ちで生きています」

以上のように話して下さいました。その利用者様は、利用される度に一つひとつ喜びを見い出され、感謝に変えていらっしやいます。そして、ご自分にどんな奉仕が出来るだろうかと考え、実践されたお姿は私達職員も見習って参りたいと思います。有り難うございました。

早速、レクリエーションの時間に、「幸せなら手をたたこう」を大勢の利用者様と合唱しました。皆さん、笑顔で気持ち良く唄っていらっしやいました。



歌詞に合わせてながら身体を動かしています



利用者様の直筆です

# 職員紹介

ヘルパーステーション 山崎文子

ヘルパーステーションに勤務して、五年が過ぎました。

利用者の皆様には、いつも温かい眼差しとお言葉で励まされてきました。三十分、一時間という短い時間でも精一杯させて戴く事で、その恩返しが出来ればと思います。

まだ足りない所もありますが、利用者の皆様の目線に立ち、日々励んで行きたいです。

デイサービスセンター 佐藤麻衣子

勤務して九年が経ち、毎日笑顔で元気な皆様とお会い出来る嬉しさは、日々私の元気の元になり、嬉しくて力が湧いてきます。

いつも元気を戴いてばかりで、私もお返したいと思います。私は、こんなにも素晴らしい勉強が出来る場所はないと思います。初めてお聴きする事ばかりで、ドキドキわくわくします。私が将来、歳を重ねた時にもしてもらいたい介護を皆様にさせて戴きたいと常に思っています。そして、利用者様のように、思い遣りのある素敵な人を目指します。



看護師 東條ミイ子

広田敬子

こんにちは。デイサービスで看護業務をしています東條、広田です。

日々、利用者の皆様から温かいお言葉や優しい笑顔に支えられて、勇気と元気を戴き、有り難うございます。

これからも翠風園で安心して楽しく一日過ごして戴けるよう、気配りをし、体調の変化などにいち早く気付くよう、努力して参ります。

どうぞ宜しくお願い致します。

グループホーム 和田恵子

グループホームに勤務して七年が過ぎました。人との関わり合いが大好きな事もあり、私の最後の仕事と思いい、この仕事に就くチャンス戴いた事、感謝しております。毎日、家と同じ家事仕事、掃除、洗濯、料理、その中に沢山の利用者様。自然体で家族と思いいながら仕事をしていこうと思いいました。でも、その中で認知症を理解し、勉強し続けながら、いつも穏やかで笑顔を忘れず、想いを受け止め、思い遣り気持ちを忘れず、これからもお手伝いをさせて戴きます。

